



大志



〔学校教育目標〕「よく学び、心豊かで、たくましい生徒の育成」

文責 河西 美代司

夏休みに頑張りたいこと、頑張って欲しいこと

3 3

すべての人に
健康と福祉を



明日から35日間の夏休みが始まります。コロナ過での2回目、新しい生活様式での夏休みです。学期中は、玄関（朝練時は活動場所でも）で健康チェックや検温をし、朝の会でも健康観察があります。しかし、夏休み中（登校時は学期中と同じ）は、各自が家庭で行うことになります。健康チェックも検温も、もうすでに生活の一部になっているものと思いますが、各家庭の中で、君たちが感染症対策をリードするくらいの気持ちで実践して欲しいと思います。「**正しく恐れる**」ことを忘れず、「**自分そして家族の命と健康を守る**」ことを意識していきましょう。

さて、「夏休みに頑張りたいこと、頑張って欲しいこと」を上げました。



★持続可能（sustainable）の視点（SDGs、コロナ、オリパラ、戦争の記憶）

・若中ラジオの「SDGsコーナー」、各委員会や各学年のSDGsをキーワードにした色々な取組。きっと、この夏休み中はテレビやラジオで、オリパラの中でもSDGsが取り上げられるのではないかと考えています。コロナへの対応もまだまだ続きます。8月6日、9日、15日を中心に、原爆・戦争に関わる報道も目に、そして耳にするとと思います。「持続可能」“sustainable”の視点で物事を見、考える夏休みに。

★地域貢献（地域行事、ラジオ体操への参加）

・コロナ禍で迎える2回目の夏休みです。ラジオ体操や会場の草取り、球技大会や育成会の旅行、夏祭りやお盆と、どこまで実施されるかは分かりませんが、ぜひ、地域の一人として、小学生から憧れられる中学生として、地域と関わり地域の力となれる夏休みを。

★家庭貢献（家の仕事を一つ以上）

・夏休みは自ずと家庭で過ごす時間が長くなります。ヤングケアラー（本来大人がすべき家事や介護等を子どもがしている）が問題視されていますが、お手伝いや家族の一員として貢献するという視点で「家の仕事を一つ」は取り組んでみてはどうでしょうか。

★自分貢献・自分を見つめ自分を磨く（健康、読書、部活そして勉強も楽しむ）

・上記のいずれも、自分の健康や体力があつてのことです。まずは、「**何より自分を大切に**する」こと。そして、その上で家族や地域のために何ができると考えること。自分の行動によって周囲の人が喜んだり、楽しいと感じてくれたりすれば、それはまた、自分自身の喜びとして返ってくるものです。しかも、何倍にもなって・・・。

・さて、3年生。『勝負の夏！』ですね。「**夏を制する！**」と3学年通信「ちーむ〇！」の見出しにもありました。12時間学習にもぜひ取り組んでみてください。頑張れ！！

『誰一人取り残さない』

～当たり前前は本当に当たりまえか～ 全校集会で話したこと

生徒会では、ちょうど今年度「SDGs」に取り組んでくれています。キーワードに「誰一人取り残さない」を掲げてくれています。私たちは自分一人の力だけでは絶対に生きて行けません。互いに、理解し合い、助け合い、補い合って日々を過ごしています。これは、生物学的にも理にかなっていて、その種、つまり人は身体的（体）にも精神的（心）にも共通の部分と、違う部分があってこそ、遺伝子をつなげられ、進化もしていけるのだそうです。先月でしょうか、NHKの「ヒューマニエンス」という番組で「人類はやがて性別が無くなっていく可能性がある」と科学者が語っていました。

話が少し難しくなりましたが、皆さんに伝えたいこと、そして改めて考えて欲しいことは、「一人一人が色んな考えや気持ち、感覚を持っている」という至極当然な事実です。これまで私たちがつくって来た価値観や慣習、つまり「当たり前」は、本当に当たり前なのかを自分自身に常に問うて欲しいのです。

さて、2学期からですが、もしかするとこれまでの若中の制服、男子の詰襟の学生服、女子のセーラー服とは違う制服で登校する友だちがいるかも知れません。若中の制服には、長い歴史とその時々に関わって来た人たちの思いも詰まっているでしょう。何より、皆さんも入学前には、制服に憧れたり、今現在も若中への愛情と一つの象徴である制服を大切に思ってくれている人も多いのではないのでしょうか。また、そもそも制服とは何か、という根本的な議論も必要になってくるかも知れません。

ただ、自分の性別、あるいは性別の象徴になってしまっている制服への違和感、困り感、圧迫感などを感じてしまっている人がいたとしたらどうでしょうか。

「一人も取り残さない」若中を、そして「一人も取り残さない」日本を、世界をつくっていくという、若中全員の目標という点からも、皆さんには真摯に考えて欲しいし、温かな気持ちで受け入れて欲しいと心から願っています。

この後、個人を特定したり、もちろん中傷したりすることなどないと思っています。一人一人が、楽しく、前向きに生活し、学習できる若草中を、若中全員の力で創っていきたくいですね。

最後に、この話を聴いて、相談したいこと、聴いて欲しいことがある人もいるのではないかなと思っています。担任や学年の先生、あるいは笹本先生、西川SC、その他どの先生でも良いので、話に来てください。

そして、各学級や学年、生徒会などでも考え、話し合っていくことも今後あるだろうと思っています。今日も、真剣に話を聴いてくれてありがとうございました。以上です。



【生徒配布用】 カラー版は若中HPにアップしています